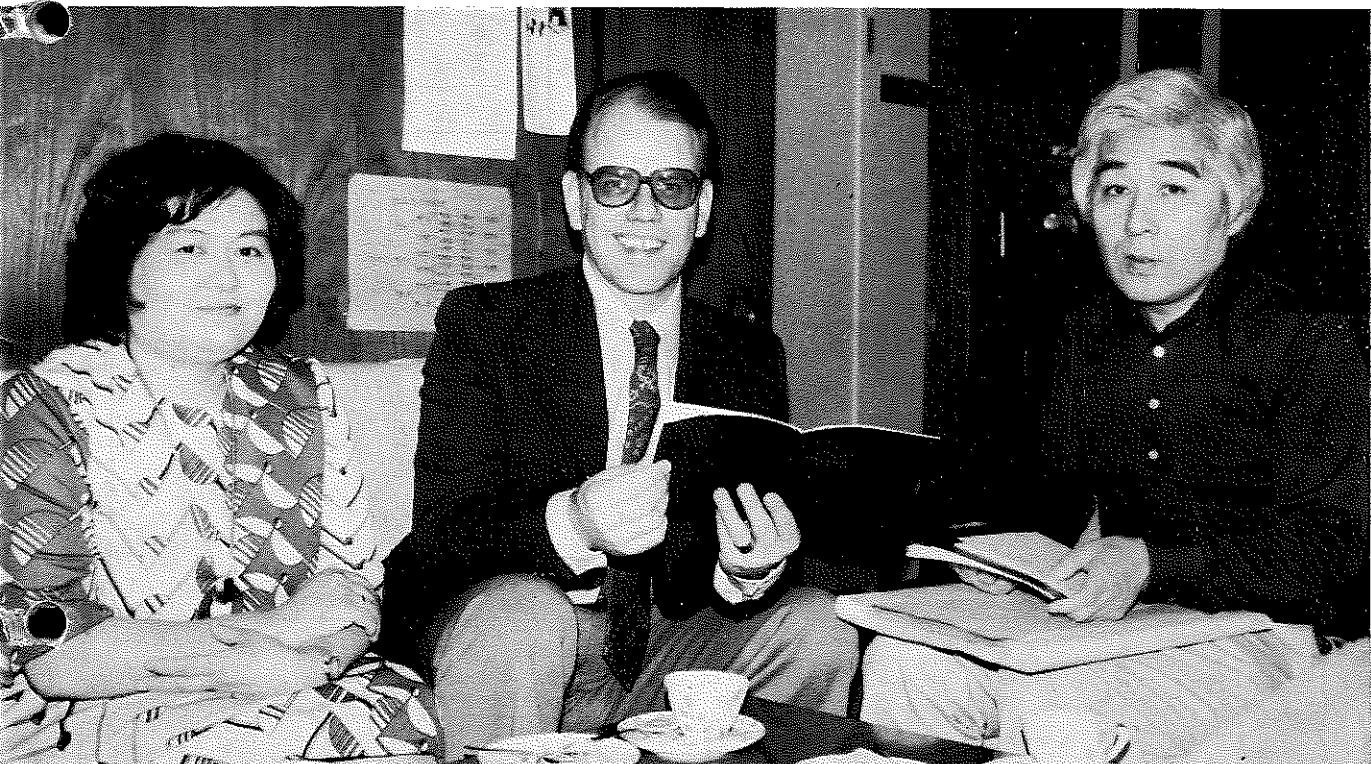


Our Music

わたくしたちの音楽



もくじ

● 夏季研修会案内	2
● ポール・ボレイ氏来日特集	3
聴講者からの声	
ボレイ氏公開講座より	
日本の印象を語る	
● M T N A ハワイ合同会議に参加して	10
● 会員の活躍	12
● 十年会員の横顔	13
● 今月のおさらい会	14

7月25～26日 8月29～30日

創立十周年記念夏季研修会開催

—皆様ふるってご参加を！—

第1日		7月25日（月）	第2日		8月29日（月）
P M 2:30 { 5:00	芥川也寸志	これからの音楽教育の方向 誰でもできる創作指導	P M 2:30 { 5:00	中村菊子	ジュリアードにおける子供の教育について 時代様式による演奏法の違い
P M 6:00 { 8:30	霧生トシ子	現代生活の中からのピアノ教育 ロック・ポピュラー等の指導法の一考察	P M 6:00 { 8:30	児玉幸子・児玉邦夫	連弾ピアノ奏法の奥義 連弾曲のレパートリーの拡大
第2日		7月26日（火）	第2日		8月30日（火）
A M 10:00 { 12:00	市田儀一郎	モーツァルト時代の音楽教育—現代への一考察	A M 10:00 { 12:00	松崎伶子	ツェルニー30番程度で弾けるリスト曲の奏法
P M 1:00 { 3:30	小林仁	バッハ・インベンションの演奏法 原典版の意味するもの	P M 1:00 { 3:00	武田宏子	子供への現代曲の与え方
P M 3:00 { 5:00	中川弘一郎	コダイシステム・わが国ピアノ教育の応用	P M 3:00 { 5:00	日下部憲夫	無理なく幼児のピアノメカニックを養う法
P M 6:00 { 8:00	中田喜直	小さい手の為のピアノ練習法	P M 6:00 { 8:00	田村宏	モーツァルトのピアノソナタの演奏法
前期会場		ヤクルトホール（新橋駅銀座側下車）	後期会場		第一生命ホール（有楽町皇居側下車）

お申し込み方法

(1)現金書留

(2)銀行振込

- 第一勵業銀行 大塚支店 № 1201960
- 三和銀行 巣鴨支店 № 102705
- 三井銀行 " № 963-792
- 太陽神戸銀行 " № 22161
- 平和相互銀行 " № 299-298
- 北海道拓殖銀行 " № 016-149

〈東京音楽研究会 普通預金口座〉

(3)郵便振替 東京 4-62049 東京音楽研究会事務局

振替は当方に到着するまで10日以上かかりますので、研修会前15日以前に御利用下さい。

聴講料

全12回券	20,000	会員割引	16,000
前期券(6回)	12,000	"	9,600
後期券(6回)	12,000	"	9,600
普通2回券	5,500	"	4,400
普通回1券	3,000	"	2,400

表紙の写真

田村宏芸大教授宅を訪問したポレイ教授と福田氏

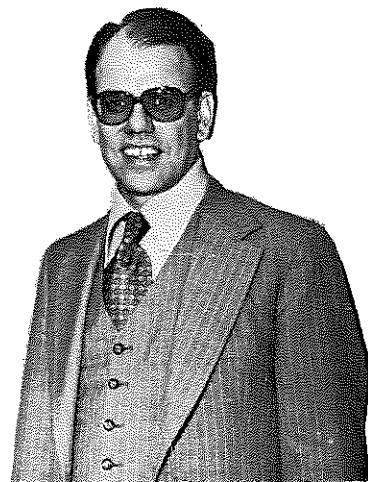
PAUL C. POLLEI 教授来日

ポール

ポレイ

各地で公開講座—参加者に感銘

5月14日から2週間、東音の招きでポール・ポレイ教授がアメリカから来日。東京をはじめ大阪、姫路、静岡、茨城などを訪れ、各地でマスタークラスや個人レッスンを行った。ポレイ氏はこれまで日本の知名度がなかったが、今回の来日で講演をきいた人々は一様に、その人格と教授法のすばらしさに深く感銘をうけたと語り、再来日が強く要望されるなかで5月28日羽田をたち、次の演奏会地ハワイへむかつた。



ポレイ氏はアメリカカユタ州のブリガムヤング大学の音楽理論、ピアノ専攻の名誉教授であり、アメリカ各地やヨーロッパ、カナダの大学で教えるかたわら、定期演奏会を開催するなど幅広い活動を続けている。著作「ピアノ指導の奥義」をはじめ雑誌などにも寄稿。今回の来日あたっては「全日本ピアノ指導者協会の福田靖子女史を訪問」と題してアメリカの新聞でも報道された。

合衆国音楽指導者協会・ユタ州の副会長でもあるポレイ氏は故ヨルダノヴィック女史の遺志をうけつぎ、姉妹関係にもある日本とアメリカの協会の交流の発展のためにも努力したいと語った。氏はブリガムヤング大学において毎年音楽フェスティバルを主催しているがそこで催さ

れる国際コンクールに、日本でのコンクールの優勝者を招待することを約束した。

おりからハワイで開かれているコンベンション（全米ピアノ指導者協会の北西、南西部地域が主催、代表はドレスケル女史）においてポレイ氏はコンサートで演奏することになっており、福田氏からドレスケル女史にあてた手紙をたずさえて日本をはなれた。

DR. POLLEI SCHEDULE IN JAPAN

5月 14(土)	ポレイ氏来日	21(土)	会員の池田先生宅においてプライベイ・トレッスン。
15(日)	東京巢鴨において公開講座	22(日)	茨城県竜ヶ崎を訪れる。竜ヶ崎支部主催のマスタークラス。
16(月)	東京スガナミ楽器において公開講座、内野先生 (桐朋音楽学校講師)宅でプライベイト・レッスン	23(月)	京都観光
17(火)	ピアノ練習	24(火)	大阪三木楽器においてレクチャーリサイタル。 夜、伊奈和子宅で歓談。
18(水)	田村宏学芸大教授宅を訪問、桐朋大学を訪ね三善 晃学長、大島正泰、林秀光両先生にあいさつ、歓談、夕刻プライベイトレッスン	25(水)	姫路支部で公開講座、姫路見学
19(木)	東京江古田末日聖徒キリスト教会でコンサート	26(木)	日本楽器浜松工場見学、静岡県焼津支部で公開講座
20(金)	ズスキ才能教育を見学。全音楽譜出版社、芸術現 代社、音楽之友社、各社訪問。夜小林仁コンチェ ルトのタペをきく	27(金)	東京調布支部でレクチャ。鈴木公江先生宅で創 作指導見学。
		28(土)	銀座でショッピングを楽しむ。福田氏の家族と夕 食のち帰国

Letters from students

聴講者からのたより

「エリーゼの為に」はアメリカの子供にもあこがれの曲

——ポレイ先生をむかえて——

藤原亜津子（竜ヶ崎支部）

連日の workshop にもめげず、5月22日（日）に竜ヶ崎へおい出下さったポレイ先生は、約5時間に及ぶレッスンを実に見事な御指導で参加者40名（生徒達）（レッスン受講者内9名）に、深い感銘を与えてくださいました。ポレイ先生のお人柄が気どらず、大変明かるく、レッスンでのお話が解りやすくどの生徒にも理解できた事が、大変有意義でした。受講曲目と演奏者の年令は

ドビュッシー	アラベスク第一番	20才
ペートーヴェン	エリーゼのために	6才
〃	ソナタ3番 Cdur 第一楽章	18才
〃	〃 5〃 Cmoll 〃	18才
〃	〃 16〃 Gdur 〃	17才
〃	〃 17〃 テンペスト〃	17才
〃	〃 20〃 Gdur 〃	16才
バッハ	インベンション8声より8番	12才
リスト	エチュード op.1 のNo.9	18才

今迄に数回公開レッスンを試みてきましたが、いつも収穫大なるものがあります。それは、私自身の勉強になることはいう迄もありませんが、生徒達が他の先生のレッスンを受けることによって先生の人間性や考え方方にふれ、表現法、演奏法が色々あることを知ることが出来ること。その後の勉強態度が意欲的になり、演奏内容が以前より豊かになること。私と生徒の間には長い間に起る慣れ合い的なレッスンの雰囲気があるのですが、他の先生のレッスンということの新鮮さや、緊張感が生徒によい体験になること。メリットをあげたらまだまだありますが、私も生徒も共に勉強していこうという意欲がわくことが、何よりうれしいことです。

最後にポレイ先生の素晴らしい演奏をきかせていただき感激しました。又生徒の「エリーゼのために」は日本では私達のあこがれの曲ですが、アメリカの子供はどうですか？という可愛い質問にポレイ先生は「アメリカの子供達も同じですヨ」とニッコリされてなごやかに閉会となりました。



——公開レッスンを聴講して——

渡利由子（8才）（竜ヶ崎支部）

ポレイ先生のレッスンは大変感動して、その夜はあまりねむれませんでした。月曜日も、ポレイ先生のことばかりうかんでくるのです。5時間あまり、あんなにピアノを長くきいたのは、はじめてです。

ポレイ先生はとてもきびしくて、うけた人は大変だろうなあと思います。オーバーにそれを表現させます。私がうけたらそれこそもうダウンになってしまふんじゃないかなと思います。でも受けてみたい様な気持もします。私はポレイ先生のレッスンをきいて今でも忘れられない、それ程感動したのです。

村瀬薰（14才）（竜ヶ崎支部）

公開レッスンを聴講して2週間もたつたのに未だあの時の感動がさめません。それは私だけではないと思います。皆が強い感動を受けたに違いないと思います。ポレイ先生は表現がとても大きく、英語があまり分らない私達でもよくわかり、とても楽しく受けられました。やさしさの中にきびしさがあり、初対面と思えない親しみがありました。

5時間という長い間がとても短かく感じ、誰もが、私もレッスンを受けてみたい！と思ったに違いありません。私はこのような公開レッスンを聴講できる環境にいることをとても幸福に思います。又公開レッスンを企画して下さった藤原先生に感謝の気持ちでいっぱいです。

川野典子（池田先生門下生）

小さい人たちにも両方のペダルを使って弾くのはびっくりしました。でもそれが大変良い曲想となり喜こんでいます。実際に弾いて下さるのでよく理解でき身につくような気がしました。

ふつう外国の先生は時間がくると終わらなくともレッスンを中止してしまうと聞いていましたが、ポレイ先生は時間にこだわらず長い時間熱心にみて下さいました。曲の中でスーパーレガートやボリュームのある音の大切さやタイミングなどよくわかりました。これからももっと勉強して機会があったらぜひポレイ先生に見ていただきたいと思います。

=Work Shop=

BEETHOVEN'S PATHETIQUE MOONLIGHT SONATA

「悲愴」「月光」 の指導のために

—5月15日 ポレイ氏公開講座—



5月15日、巢鴨さんとろべにおいてポール・ポレイ氏の公開講座が開かれました。午前中にベートーヴェン、午後にはドヴィッシャの各曲をとりあげられました。楽譜のすみずみにわたって細かい表現と合理的なテクニックを豊かな音楽的知識と経験をもって話され、聴講者を魅了しました。

ここでは午前中のベートーヴェン「悲愴」と「月光」の一部をとりあげて紹介します。なお当日の録音テープは東音で借りることができます。

ピアノソナタ OP 13 「悲愴」

ベートーヴェンのピアノ作品を弾く際に大切な事は、その奏法について、彼の楽譜に忠実に弾かなければならないことです。バッハは、その弾き方については、何の要求もしていません。しかしベートーヴェンの作品に対しては、『神様に対するように頭を下げて』そのタッチ、フレージング、ダイナミックス、強弱など正確に演奏しなければならないのです。彼の作品の構成は、非常に壮大で高度な内容を持っていますから他の作曲家よりたくさんの事を要求されます。

〔I 楽章〕

まず最初に、和音が連続して出て来ているので、コードをつかませる練習をさせましょう。あるコンクールで女の子が、誤ったコードで弾いているのを聴いたことがあります。耳慣れる事が重要ですから、長短増減の和音のコードをしっかりとつかみ取って練習することが必要です。

次に *ffp*, *fp*, *sf* の記号が見られます、これはベートーヴェンの性格を表わしていると考えられます。白黒をはっきりつけて下さい。強い音を弾く場合の4, 5の弱い指を補うために、私は子供のおもちゃで指の訓練をしていますが、先ほどのコードの練習も指の訓練になります。

ます。また、効果的な使いは、楽譜通りにただ弾くのではなく、自分で考えて弾き易いよう変える事ですね。

(第1小節)

Grave の指示が始まっているので、できるだけゆっくりシリアルスに弾いて下さい。*f* → *p*へのバイブレーションはペダルと手首を使い、次の音を弾く前にすでに *p*にしてしまう奏法を用います。ふたたび、ほんの軽くたたくだけで、途中のバイブレーションは消えてしまします。*sf* の記号の箇所は、ペダルを充分生かして部屋全体に充満させるように響かせるとよいでしょう。



(第5小節)

p → *ff* つまり白→黒へと耳を慣らすのには、これもペダル効果的に使うことです。前の小節につられて、決して速くならないで下さい。*Grave* の指示を守り続けることは、後の速い楽章をより効果的にする為でもあるのです。そして *p* → *ff* の間は、少し待つことです。そしてハイドン、モーツァルト、シューベルトの曲にもよく見られますが、長い音符に「よりかかるように弾く」ことは、連続和音の出てくるこの内容にかなっています。



(第93小節)

ここからの右手は、「メロディアクセント」と言われるペートーヴェンのスタカートの特色です。他のソナタでもよく見受けられる重要な箇所です。小さなベルのよう^トに弾くことを心がけます。

A musical score for piano, showing four staves of music. The first staff starts with a dynamic instruction 'cresc.' above the notes. Measure 5 begins with a forte dynamic. Measure 6 starts with a piano dynamic. Measure 7 starts with a forte dynamic. Measure 8 starts with a piano dynamic.

(第101小節)

101 小節の前のカソマは、とても意味深いことと言わなければなりません。f → pへの調節をするために、少し待つこと。はっきりさせるためのものです。丁度目がフラッシュライトを浴びて普通の光に調節できるようにするまでの過程と似ています。今まで「ピンピン」はねていたのを押さえる奏法への転換ですね。

A musical score for piano, showing two staves. The top staff has a treble clef, a key signature of one sharp, and a common time signature. It features a dynamic instruction 'p' (piano) above the notes. The bottom staff has a bass clef and a common time signature. Measure 11 ends with a fermata over the right hand's notes. Measure 12 begins with a dynamic 'p' and a fermata over the left hand's notes.

〔II 楽章〕

私は、この楽章を初めて来る生徒に試験する為によく使います。つまり、その子の「心」がよく表われるからです。リストは、この楽章について「指は鉄のように、心はバターのように彈きなさい。」と言いました。

ソプラノに出てくる4、5の指を練習して、指の弱さを補強して下さい。そして手首を高く上げて、最後まで楽に弾いて下さい。

〔III 樂章〕

拍子を2分の2拍子の感覚で弾くことを、改めて見直してから弾き始めるように。拍子のリズムはとても大切です。4分の4拍子に刻まないようになることが大切。

そしてスラーの最初をはっきり、最後は弱くして下さい。

(第16小節)

ひじを使って上からではなく、キーのそばで音をつかみ取って和音を強いて下さい。（グラーピテクニック）

(第44小節)

これは、レガートで弾くことを意味します。スタッカートの印がついているのは、タイと間違えないようにするためのものです。細かいペダルは、続けて弾いて下さい。二つのペダルの上に足を置き、いつでも踏めるように準備して置くことが大切です。なるべく動きを少くするために。

ピアノソナタ OP 27 の 2 「月光」

I→II→IIIへとテンポが速くなつて行く曲ですが、I→II、II→IIIへと、そのテンポを倍の速さにしていくと全体の統一が取れて行きます。

〔I 楽章〕

この楽章は、とても穏やかな平らな面を要求されます。そして正確にテンポを保って下さい。またレガートの箇所は、弦楽器のように暖かみのある音を出して、全体の静寂さを保つように心がけることが大切です。とても我慢強くなくては弾けませんし、恋をしている人でなくては弾けない曲ですね。

(第37小節)

この箇所は、スムーズレガート、または、スーパーレガートと言う表現を用いることがあります。最後まで2分の2拍子を忘れないようにしましょう。

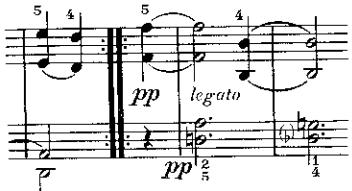
The image shows a page of sheet music for piano, page 36. The music is in common time and consists of two staves. The top staff is in treble clef and the bottom staff is in bass clef. The key signature is A major (three sharps). The music begins with a forte dynamic (f) and includes fingerings such as 1 2 3, 1 5 2 3, 1 5 2, 3 1 5, 2 3 1 6, and 1 2 3. A dynamic marking 'mf' followed by 'decrec.' is present. The bass staff features sustained notes with slurs and a bass clef. The page number '36' is located in the top left corner.

[II 楽章]

トリオの箇所は、最初のメヌエット風な出だしと対比をつけねばなりません。例えば「男と女」「ダンスと歌」など。つまりスタッカートとレガートの対比です。

(第45小節)

ベートーヴェンとブラームスの pp は、「芸術の世界から他の世界へ連れて行くようなピアニシモ」という表現を、私はよく使います。そしてこの楽章の sf は、デリケートな音が要求されます。



[III 楽章]

指をはっきり上げて、最初はゆっくり練習しなければなりません。1つ1つの音を離してスタッカートで練習したり、また色々なコンビネーションの符黒音符を考え下さい。

ボレイ氏日本の印象を語る

★日本で印象的だった6のこと。町がキレイなことおいしい料理（日本料理はワンダフル）『おしほり』町を一人で歩けること—ニューヨークなどの町ではとても一人では出歩けません—よいピアノがあることすばらしい人々。

★4～5才から16才までの日本の子供さんの程度が非常に高いし成長も早いですね。日本では一人の先生につくとずっとその方に教わるそうですが、アメリカでは大学生などどんどん教授を変えます。一人の先生に長くつくとその教え方になれ、多くのことを吸収できますが、教え方が合わないような時は生徒の力がのびないという欠点もあります。

日本ですばらしいと思ったのは日本の子供の45～50%の子供が何らかの形で音楽を習っているときいた事です。多くの人たちが音楽に興味を持っているということはピアノの将来にとっても明るいことです。

★私のいるブリガムヤング大学のあるユタ州は大変教育を奨励していて、私の町プロヴォでは90～95%の子供たちが音楽を習っています。全米でみれば18～20%ぐらいです。

★ブリガムヤング大学は学生数2万5千人で、ピアノ科と声楽科にそれぞれ400～500人、そして他の楽器にもそれ位の学生がいます。外国学部には日本語は勿論デンマーク語やヒンドゥ語など世界各国の語学を教え

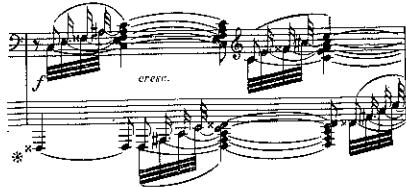
(第120小節)

息をすってお腹で弾くように。ピアノを持ちかかえるようにすることによって、楽器が自分のものになるような体整で弾かねばなりません。アルフレッドブレンデルは、「ピアニストの敵はピアノである」と言っています。



(第163小節)

この小節は、ベートーヴェンの時代には、とても野生的に聞こえました。オーケストラ全体が響いているように、体全体を使ってダイナミックに弾いて下さい。



ています。

★日本ほどではありませんがアメリカでもピアノの教師は女性が多いですね。大学では男子学生も教師になるようすめています。私の大学で一番優秀な15人のうち10人は男子の学生です。世界的なピアニストでの男性が多いのは特に理由があると思いませんが、やはりコンサート旅行などきついからかもしれません。

★毎年6月末に私の主催で音楽フェスティバルを開きます。マスタークラスやコンサート—今年はリリークラウス女史などを呼びます。そしてピアノの国際コンクールもやります。これは16～30才までのピアニストを対象におこなうもので一位には1500ドル二位には500ドルの賞金がです。福田先生が主催なさるコンクールの優勝者を来年御招待します。もちろん審査員として福田先生にも来ていただくようお願いしています。

者 姚五
と
津月二
支部六
の
レッジ
スン受講



日本の雨

曲 ジェーン・E・ブッチャー

Modern Japanese Scale



Moderato

作曲家 ジェーン・エリザベート・ブッチャー 女史は、アメリカ州立ケント大学に学び、M.T.N.A. 及び Piano Guild の会員でピアノ・音楽理論の優れた教師として知られます。この曲は女史が、来日された折の印象を子供のピアノ曲集として出された「花祭り」の中より、掲載したものです。

アメリカ人の見た日本のイメージとして、面白い感じがでていると思います。

グレード ブルグミュラー25番を、10曲位弾いた生徒さんであれば充分弾けます。レベル5程度。

ざりがにさん

曲 ジェームス・バステイン

Lively

You get a line and I'll get a pole,
hon-ey,

You get a line and I'll get a pole,
babe,

You get a line and I'll get a pole and we'll go down to the craw-dad hole,

hon-ey, oh, ba - by mine.

作曲者 ジェームス・バステイン バステインメソードの創始者として知られるアメリカのピアニスト作曲家。この曲は、アメリカの民謡で一地方のわらべ唄のようなものから、バステイン氏がアレンジした曲。

左の日本旋法による曲の対象の意味をもって、このアメリカ的な曲を掲載しました。

グレード バイエル終了程度で充分演奏できます。レベル4程度。左手の二重奏練習に効果のある曲でしょう。

..... Hawaii Tour

M.T.N.A. 北西・南西部 地域合同会議に参加して

高木 紀子

プルメリアレイの歓迎

全日本ピアノ指導者協会評議員片山緑先生をリーダーとして外6名は5月27日に羽田を発ち、一路ホノルルに向かいました。時差の関係で、同日朝到着し、香り高いプルメリアのレイの歓迎に感激し、会議場でもあり、宿舎でもあるアラモアナホテルに案内されました。会議出席確認のため登録をすませ、その夜はバイキングの夕食にボリネシアンショーでハワイの空気を満喫しました。

翌朝、わたくし達女性人は、他の同行の5人の方達と一緒に、カウワイ島へ飛びました。日系の女性のガイドで楽しく色々見物し、シダの洞窟、壮大なワイマエキヤニオンなど、一見に値する所ばかりでした。

夕食後8時からのオープニングセッションの会場ホテル二階のパンダルームと呼ばれるホールには、やわらかい5つのシャンデリアが輝、落ち着いたサロンのムードでした。ルース・スレンチンスカは日本人的な小柄な人で、アンコールに答えてラ・カンパネラを少しアレンジして弾きました。

ゼネラルセッション開始

翌29日朝8時より、ゼネラルセッションが始まりました。お祝いのご挨拶が続きます。

ハワイ大学教授、弁護士の方、アリゾナ、オクラホマアイダホの各M.T.N.A.会長、終りにハワイM.T.N.A.会長のバージニアトム氏のご挨拶で、初めて主催国になられた抱負をよろこびをこめて述べられました。

続いてスレンチンスカのレクチュアに入りました。同時通訳は設備上無理があり、通訳の方2人にお願いしま

した。お二人とも人柄が良く、外のことでもよく手伝って下さいました。はじめにスケールのテクニックについて、1, 3の指の問題からメトロノームを使ってニュアンスの練習、スタッカートの練習、アクセントのつけ方、5指の操作(つかむ形

で)など、メトロノームをフルに使って、きちんと刻むことの方法論が多出しました。中級の生徒のショパンの教材については、例えばパラードなどでは、1.アクセント、2.イディアム(概念)(自分で考える)3.形容詞を大切に(ルパート奏法を含めて)というような説明でした。



ドレスケル女史

ファッションショーのサービスも

次の時間は、アロハソシアルアワーで、ハワイの民族舞踊とその音楽が演じられました。

昼食時にファッションショーがあり、特別なモデルではないと思われる人達が、ムウムウやアロハを着てみんなの食卓の周りをまわります。説明する人は値段も言いそえていました。「テガキ」という言葉がよく出るので、「キモノ」と同様英語の中に定着しているのでしょうか。

午後のレクチュアはスレンチンスカの午前の続きの中級生徒のショパンのレパートリーについてでした。お茶の時間がすんでからは高校生のコンクール入賞者の演奏でした。生徒が聴くとその先生を1人づつ紹介しました。一緒に毛藤先生とも話し合いましたが、アメリカの一地方のためか日本の水準とは大分かけ離れている生徒もいるように感じられました。しかし諸問題が言葉を越えて分るときは、音楽(ピアノ)ならではと深く思いましたり、いくつかの角度を持って見聞き出来ましたことをうれしく感じました。

その日の夕食は宴会でしたが、その間中、入れ代り立ち代りスピーチがありました。夕食後着替えをして、大型バスでハワイ大学のコンサートに向かいます。最初に日本の舞踊「ゆき」、フィリピンの踊り、歌、韓国の踊り、大鼓の独演など大学生とは思えないプロ的なものもありました。最後にトンガのコーラスがありました。衣装もユニークなもので、何より驚き魅了されたのは、その雄大なハーモニーでした。音楽的に勉強した人たちとは見え、土の香り、海の香りの溢れたものでした。

翌朝も8時には疲れも見せず、続々集まられ、レクチャ開始。カリフォルニアのロザリエリゲットによるド



アラモアナホテルで食事する筆者(中央)

イツ、フランス、イタリアの演奏スタイルのデモンストレーションがありましたが、目新しいものには思えませんでした。

感激したトリミロスの公開レッスン

次のハワイ大学の先生の、リカルドD. トリミロス氏の公開レッスンとも言うべきものは、本当にこの会期中で唯一のすばらしさでした。時間がとても短く感じられ、毛藤先生もわたくしもひざをのり出し、感銘深く聞きました。1978年のM. T. N. A. 高校生オーディションの課題曲であるグリーグのコンチェルトイ短調、作品16、第一楽章を、一生徒が弾きました。わたくしの席の傍にその生徒の父母がおり、練習時間が足りないことを、留学させ度くても費用が大変なことを繰り返し話していました。しっかり弾きましたが、がむしゃらという形でした。その先生は、フレージング、タッチの説明、腕の問題など、わたくしなど言葉が全部聞きとれなくても、本当に胸にひびきました。一寸弾かれてても圧倒されました。

福田先生からドレスゲル女史へのメッセージも紹介

お昼の食事の席上、向田静先生（ホノルル在住の方）の肝入りで、日本から参加した私たち7人の紹介が行われ、福田靖子先生からM. T. N. A. 会長先生宛へのメッセージが読まれました。アメリカの方達も州別で紹介がなされました。

午後からはアリゾナ州立大学のマービン W. ブリトン氏によるリズムを中心とした一寸變ったレクチュアがありました。声を出しモーションをつけての演奏形態とか、不安定なリズム表現を避けるには？のミーティングではリトミックの勉強のように全員が実験することになりました。雅楽、現代音楽、クラシックの聞きくらべ。手に感じるリズム感、次第に踊ってみるというようになります。少々恥ずかしい思いでした。



日本から参加した（右端から上へ）

片山・矢島・高木・毛藤・本田・柳田の各氏

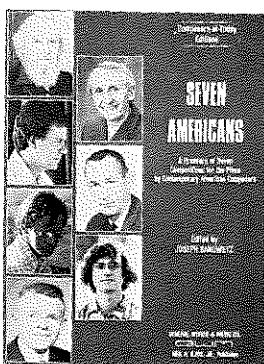
8時から待望のポール・ボレイ氏の演奏会です。福田先生が、さきに日本に招へいされ、そのレクチュアを受けられた方はご存じの様に、素敵なピアニストです。スピーチをまじえながらの演奏でした。フォーレやラベルは殊に美しく、人柄が出ていました。後半のショーベルトのソナタ、リストの波の上を渡る聖フランシスは、ち密に弾き込まれ、胸一杯音楽で満たされた気持でした。終ってから、私たちは、ボレイ氏に1人1人挨拶をしましたが、福田先生のことを尋ねられ、また日本へ行く予定がおありとかお聞きしました。

以上で三日間の会議は終りました。何と意義ある3日間であったことと、心から喜んでおります。向田先生からは、香り高いレイを度々頂き、他の先生からも果物やお手作りのお菓子など頂き、ホノルルの先生方のご懇情、深謝しております。

1972年のM. T. N. A. 会議には初めて福田先生が参加されてから、折ある度、例えれば邦人作曲家の作品の発表に渡米されたり、意欲的な活動をなさることで、すでに広い門戸を開いて道をつけて下さったのですから、会員の方々が国際的な研究会などには参加されること、日頃の勉強のより向上になるのではないかと思います。今回も福田先生はと数人の方達から尋ねられました。

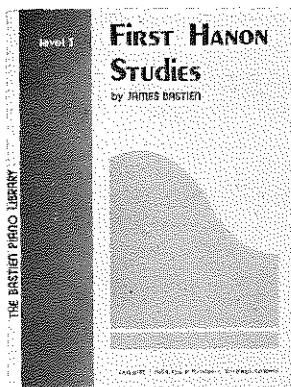
〈東 音〉 樂 譜 新 入 荷

(会員割引あります)



七人の現代アメリカ作曲家による
ピアノ曲集
ヨゼフ・バノウエツツ編
一〇八〇円

現代アメリカ作曲家を
代表する作曲家7人のか
きおろしのピアノ曲を集
めたユニークな作品集。
現代アメリカのピアノ曲
の様相を知る上にも大変
貴重な楽譜と云えよう。
チャルニー30・40番程度
で弾ける楽しい曲もはい
っている。



「バ
スティ
ングレ
ード
レベ
ルIII」
はじ
め
て
の
ハ
ノ
ン
六
三
〇
円
ジェ
ーム
ス
バ
ス
ティ
ン



沖縄支部島尻政長氏を中心に活発になる活動

島尻政長氏は過去16年に亘り、大学での御指導、ピアノ教室、また琉球新報への評論執筆等幅広い活動をおこない、沖縄での音楽文化の向上に力を尽くされていける方。昨年か

ら発刊しておられる「ピアノ通信」はその活動の一環ともいいうもので、この5月1日刊のピアノ通信第4号「提示板」に次のように記しておられる。

『4月から島尻ピアノ教室を島尻音楽研究所と名称を改めました。研究所としたのは、全日本ピアノ指導者協会の沖縄県支部としての役割と、その中で音楽研究会を定期的にもちピアノ指導者の交流をもちたい……』とある。毎月の研究会のテーマは、ピアノ学習体系とその類型、指導法の研究、教室の運営と管理、各国ピアノ教育の現状と問題点など、多岐に亘るもので、これからの研究所の発展が期待されるところである。沖縄在住のピアノ教師は、ぜひ、沖縄支部に加入され、研修を深め、御仲間を増やしていただきたいものである。

上智大学グリークラブ名古屋で公演

去る6月11日（土）名古屋市民会館ホールにおいて、南山大学メイルクワイマーと上智大学グリークラブの演奏会が開催された。上智の指揮者は、当協会正会員の清岡芳子氏の御長男和久氏。伴奏は、当協会員で昨年の夏期研修会で小林仁作曲のアルバムプレッターを演奏した柳井修氏。その息合った演奏は、名古屋市民に深い感動

を与えた。

島尻先生（中央）
と
研究
所の
方々



創作指導研究グループ 発会式開かる

去る5月20日（金）栗鶴さんとろべにおいて、創作指導研究グループの第1回が開催された。初回ということで、研究グループ主幹の池田早梅先生（会員）のリトミックから即興表現、創作へと発展させる実践的研究過程が幼児、生徒の創作作品テープを使って具体的に紹介された。

幼児の導入法として、黒鍵だけの作曲



ハンドサインを樂しいうたに即興演奏でうたうとか、タンブリンでリズムのお話、（タンブリンをたたいて問い合わせると、タンブリンで答える）など細部にわたる経験豊かなお話を魅了されることしばし、「これから指導に大変参考になりました。」出席者のひとり福島さんの弁、次回からの会の運営方法が検討され散会となった。

第2回は6月19日、第3回は7月8日（金）池田早梅宅で開催 Tel.(03)999-3389

THE GREAT PIANISTS ピアノ音楽の巨匠たち

…パッハからクライバーンに至るまでのピアノ音楽の巨匠たちの横顔を、演奏史的な側面から、あるいは彼達にまつわる幾多の興味深いエピソードから自在に捉えた名著。豊富な資料と簡潔でリズムのある文章で綴った魅力溢れる一冊。井口基成氏、安川加寿子氏、小林仁氏達が絶賛してやまない、ピアノ・ファン必読の書、遂に完訳される！――

株式会社芸術現代社

東京都渋谷区渋谷五丁目25-11-1622
電話(03)5010-5210 邮便 東京132797

単行本の購入は全国の書店、楽器店に御用命下さい。品切れの場合には販送料￥200を先頭に加えて直送料に御用命下さい。

ハロルド・C・ショーンバーク著
中河原理・矢島繁良共訳



4・6判／上巻448頁 ￥2500

10年会員のプロフィール

バラも子供も生徒も育てるのが楽しみ

村上 豊子氏 (1967年入会)



昭和2年1月6日、大阪豊中市に生まれる。現在埼玉県浦和市に母上と御子息との3人暮らし。(旧制)立教女学院卒、女学校のマレイ氏、東京音大の篠塚雅子氏などにピアノを師事。以来ピアノ教師として子供たちの教育にあたっておられる。

——何才の頃からピアノをお始めになりましたか。

村上 もの心ついた頃から家にピアノがありました。けれど姉や兄(服部幸三氏・東京芸大教授)が弾くのを聴いていたばかりで、練習曲にはなじんでいましたが、子供時代は自然の中で遊ぶ楽しい生活でした。一度学校の先生がわざわざいらして母親にピアノを習わせるよう勧めて下さったのですが、母は断ってしまいました。

女学校でマレイ先生というアメリカ人の方が、パイオルガンを大変美しく弾いておられるのに感動して私もピアノをはじめた訳です。マレイ先生は手が鍵盤にさわって音がでる以前のことを「やかましい音がする。空気が音を出す」といって弾き始める時の姿勢を厳しく注意なさいました。カールフィッ

会報に投稿を!!

これまで「会報」が定期発行できなかったことお詫び申し上げます。これからは毎月刊をめざしてがんばりたいと思います。また会員の皆様の活動を数多く紹介し、会員相互の交流に役立つような会報にしたいのでぜひ次のようなことをお願いします。

●「今月のおさらい会」に会員の先生方のおさらい会を毎号2件ほど紹介させていただきたいのでぜひ御案内下さい。事前にお知らせ下されば、行けるところはなるべく取材させていただきます。遠いところは発表会の写真(白黒がよい。カラーの場合はネガで)と感想文それにプログラムをつけて下さいますよう。

●「十年会員のプロフィール」は協会発足当時からの会員を中心に、先輩の先生方の活動を紹介する欄です。お忙がしいとは思いますがぜひインタビューにご協力下さい。

シマーのオックスフォードピアノコースという本を一年間習いました。なかなか一曲一曲あげて下さいませんでした。その後他の先生について二年間でチャーチニー30番~50番をあげてしまいました。結局、チャーチニーはあとで勉強しなおしましたが。

——きっと基礎をしっかりと勉強したからですね。生徒さんにはどんなことを注意してお教えになられますか

村上 勿論テクニックは身につけなければなりませんが音楽は心だと思います。子供たちにはピアノだけでなくソルフェージュもやるようにしていますし、時にはレコードもきかせています。すると自分の弾いた曲等大変身を入れて聴いています。

けれど受験生は別ですね。学校の一年間はクラブ活動など楽しみなさいといいますが、そのあとは毎日2時間以上、日曜日などは4時間以上弾きなさいと指導します。

——御子息様は音楽をおやりになりますか。

村上 いいえ。やりたいという強い希望があったのですが、私は反対してやらせませんでした。音楽で身をたてるのは特別の才能が必要だと考えたからです。

——御自身でもまだレッスンをうけられるそうですが。

村上 音にさわっている事が大変幸せです。平均律やモーツアルトのソナタをよく弾きます。又、スクリアーピン等ロシアの作曲家のものにも興味があります。

最初のころ教えた生徒さんが子供をつれて習いにくるという村上先生の子供のピアノ指導のためにもまた御自分の勉強のためにも努力を惜しまないかたわら、広いお庭にバラをはじめ美しい花々を咲かせるのがご趣味とのこと。

色あざやかな花に囲まれたすばらしいレッスン場にお訪ねしました。

●「交換ポスト」は会員の皆様が「先生(生徒)を紹介して下さい」「~を売りたい」「~を探しています」というように会報を通じて情報交換するページです。皆様ご遠慮なくおたよりを下さいませ。

●その他、会報に関するご意見をはじめ気のついたこと何でもお送り下さい。より一層充実した会報づくりのためご協力を願い申し上げます。

全日本ピアノ指導者協会会員募集

——あなたのお仲間を会員にお説明下さい——

- 研修会員 ピアノを指導されている方ならどなたでも
- 研究会員 音大2年程度・グレード4級以上の実力のある方で将来スペシャリストをめざす方
- 学生会員 ピアノを学習しておられる方
- 賛助会員 当協会を後援してくださる方及び法人
(当会報へ広告を無料掲載)

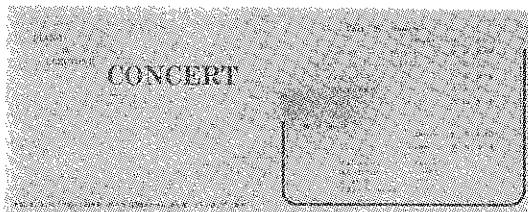
詳しい事は当協会へ、会員には多くの特典があります

今月のおさらい会

青森市奥角暁子先生

常日頃楽しいコンサートをと考ておりましたが、なかなか実現できなかったので、今回はエレクトーンの先生の協力を得て、『アンサンブルの楽しみ』と銘うつてみました。しかし、いつも連弾をひかせてみると、父兄から「低音部を持つとつまらない」（本当は一番大切なですが……）というような声も聞かれます。ソロはなるべく短い曲を与えております。コンサートを楽しく、となると発表会本来の姿が欠ける場合もたびたび見うけられますのでやはり一人一人にソロを持たせることが必要かと思います。

今月のムジカノーヴァを見てとてもうれしくなりました。・アンサンブルを取り入れよう・表彰制度を・花で彩るステージなど私の考えていることがそのまま活字に



なったと一人喜んでいます。

今年から3年目と5年目の生徒に賞状をあげることになりました。また3年目と5年目6年日の全員を表彰する予定です。（私がピアノを教えて6年目ですから）

今回のプログラムはいつもの倍印刷しました。演奏技術はまだまだプログラムにこれだけ経費をかけるのもおかしいような気もしましたが、子供たちの記念に残してもらえるようなものをと思いきってみました。プログラム印刷が一番大変です。他の先生方とプログラムの交換ができるとよいと思います。

この頃の学校は一年中行事がつまっています、日曜日も2ヶ月も前に決めて何かの行事と重なることが多く、今年は思いきって土曜日にしてみました。

『アンサンブルの楽しみ』と銘うっているものの生徒達にはとても楽しみなどというゆとりはないようです。

新聞寸評

5月～6月にかけて新聞の音楽欄にぎわしたのは、何といつてもショルティの率いるシカゴ交響楽団。（6月7日初公演）4度目の来日のアムテルダム・コンセルトヘボウ、ピアノではフランスからやってきた2人の若手ピアニスト、ミシェル・ペロフとフランソワ・デュシャープル、それにソ連からのD.アレクセイエフである。

シカゴ交響楽団はショルティ氏が音楽監督になってからアメリカで実力一となったと云われる。「透明な弱音から圧倒的な迫力を持つ最強音までのダイナミック・レンジの広さ、明るく統一された音色、精緻をきわめた合奏力等、オーケストラの能力としてこれをしのぐところはみつからない」（サンケイ6/13夕）という絶讃をはじめ、「息もつかせぬ迫力」（読売6/13夕）「呼吸びったりマーラー熱演」（朝日6/11夕）など各紙がそのダイナミックな演奏をほめている。

マーラーといえばコンセルトヘボウのお箱だが、指揮者ハイティンクのマーラー解釈について「交響曲の各部分の分裂現象を明確に浮きぼりにした」「19世紀ロマン主義者というマーラー像でなく、私たちの時代に生きる音楽家」として表現「最近の世界的なマーラー流行の原

点を明らかにした」（毎日5/25夕）と評価している他朝日（5/18）サンケイ（5/23）読売（5/18）でもこぞってとりあげている。一方、若くてチャーミングなピアニストたちは、「期待にそむかぬペロフ」（朝日5/25）「のびやかに歌うデュシャープル」（読売5/27夕）「強烈な主張塗りこめる」（朝日6/1）と書いているのを始め音楽雑誌にも度々登場。

アクレセイエフは各種の国際コンクール、特にリーズコンクールで一昨年優勝してから一躍世界的に知られるようになった。「さすがにすごい力量をもった截然たる個性の芸術家である。技巧の卓抜はいうまでもないが、この人の特徴は音楽をいやが上にもドラマチズムし、ありとあらゆる音色の変化を駆使し、pとfを極端で思いがけない形で使いながら強烈に主観的な演奏をする」（朝日）とその個性的な演奏が注目された。デュシャープルはパリ音楽院在学中から注目され20才前後から演奏会を開いていた天才ピアニスト。「単にピアノを彈くということよりも一段上のピアノを使って音楽を語り聞き手を楽しませる」（読売）また読売日本交響楽団と共に演じたペロフのプロコフィエフも「叙情的」「詩的な世界へ変換」と好評。また本協会で公開講座を開いたチェンバロの橋本英二氏も朝日（5/24）で紹介されている。

全日本ピアノ指導者協会 会員連絡

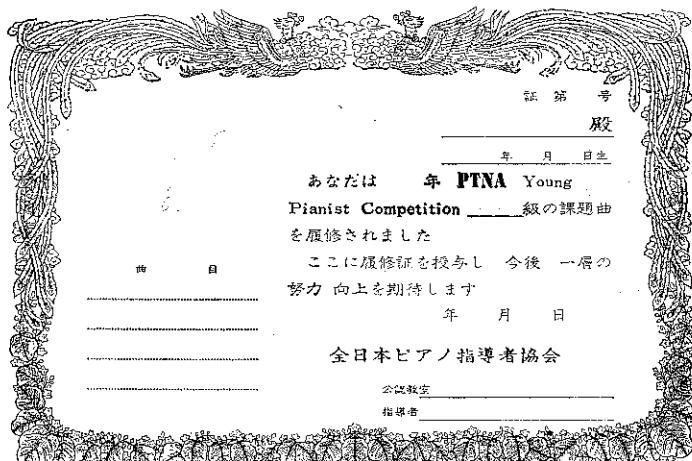
会員の方は必ずお読みください。

プレ ピティナ ヤングピアニスト オーディション

地区審査員

石川文子・内野良子・金子勝子・片山 緑・日下部憲夫・佐伯慶子・島尻政長・嶋崎晶子・杉浦博子
鈴木英子・武田宏子・高木紀子・瞳道郁子・永富和子・福田靖子・松口雍子・村越美和・山口一江
(アイウェオ順) 他当協会評議員・正会員による

- ◎ 協会々員の子弟は、このオーディション参加・不参加に関わらず、その進度に応じオーディション課題曲をグレード検査試験の一環として、必ず練習させて下さい。
- バロック・クラシック・ロマン・近現代の全4期の曲を暗譜した生徒は、ぜひオーディションに参加させて下さい。
- もしオーディションに参加しない方でも、全4曲を暗譜した生徒には、「履修証」を協会より発行します。
 - (1) 全日本ピアノ指導者協会々員の指導を受けている生徒。
 - (2) 全日本ピアノ指導者協会公認の教室で学んでいる生徒。
 - (3) この場合年令は関係ない。例えば20才の生徒でも、ピアノを始めたばかりならば、A級課題曲を履修させればよい。
 - (4) 「履修証」申請は、当協会々員教授者が、一括して本部に申込むこと。
生徒名、生年月日、学校名各及び学年、履修曲目。
 - (5) 「履修証」授与者名は、会報に掲載する。
- ◎ オーディション参加申込書は、なるべく教授者がまとめて、各地区申し込み場所に、期日迄に提出してください。(地区申し込み場所が、ゴム印で押していない場合は、東京本部へ)
勿論、生徒直接の参加申し込みも受けますから、奮って参加してください。
- 参加者全員、「参加証」を授与され、会報に掲載されます。



楽譜 サ ジ ェ ス シ ョ ン

優れた演奏の第一条件が、正しく楽譜を読むことであることは、誰でも知っていることです。であれば、信頼される楽譜を使用することが大切です。

- ◎ バッハの楽譜、課題曲になっている楽曲が掲載されている楽譜は、日本の音楽之友社・春秋社・全音楽譜出版社（アイウエオ順）から出版されています。やさしい曲は「子どものバッハ」と言った類のものにもはいっています。
バッハの楽譜は、五種類は研究のため持っているべきだと言われています。
外国版には、多色刷りのもの、レコード付きのものなどもあります。
- ◎ クラシック期ロマン期にある課題曲は、どこにでもある楽譜に含まれていますが、これも、数種検討されることをおすすめいたします。
- ◎ 近・現代曲は、著作権の関係で一社からしか出版されていないものが、沢山あります。ここに出題されている楽曲の中で、外国版にしかないものは、
 - ・ バルトーク「子どものために」イギリスのブージーアンドフォクス社（レコードは、東芝）及び、アメリカのスタジオ社（レコード付 ￥1,100）他
 - ・ プロコフィエフ「魔術師の弟子」イギリスのブージーアンドフォクス社
- あとの楽譜は、日本語で出されています。
 - ・ カバレフスキイ「クラウン」は（レッスンの友社刊 川村昭三編）（東音刊 中村菊子編 レコード付）の中に含まれています。
 - ・ 矢代秋雄「おすまし」は、（音楽之友社刊）現代日本こどものためのピアノ曲（むらたせつ子・中田喜直編）及び、ピアノペダルの基礎テクニック（西川恵美子・伊奈和子編）に含まれています。
 - ・ あとは、課題曲一覧表に明記してあるタイトル（全音楽譜出版社刊や音楽之友社刊）の楽譜に含まれています。

楽譜の御相談は下記へ

昭和52年度 夏期研修会 前期プログラム<7月25日26日>

会場 ヤクルトホール

7月25日（月） 午後2時30分～

芥川也寸志先生



■これからの音楽教育の方向

創造の所産が芸術であるならば、創造性の開発なき音楽教育は考えられないはずである。ヤマハ音楽教室では、創作教育に力を入れ過去に幾多の才能ある子供たちを世に送り出してきた。その教育の大元じめともいべきヤマハ音楽財団の専務理事の要職にあった氏の御体験から、ユニークな音楽教育論そして方法論が伺える。

〔特別研究〕 誰でもできる創作指導の方法

7月25日（月） 午後6時～

霧生トシ子先生



■現代生活の中からのピアノ教育

今や音楽といえば、クラシックよりも、ポピュラーやジャズ、ロックなどの方がなじみ深い世代に、旧来の音楽教育だけでよいものであろうか。またジャズの真髓は即興性にあるという。クラシック音楽家としても優れ、またジャズ演奏家としても、知られる氏のジャズアンサンブルを聴かせていただくと共に、その指導法を伺う。

〔特別研究〕 ジャズへの道

7月26日（火） 午前10時～

市田儀一郎先生



■音楽の動きについて

「始めにリズムありき」とリーマンは言った。器楽曲が舞曲に源を発していることは、誰でも知っているところである。ヨーロッパ人と日本人の音楽のとらえ方の違いは、このリズム感にあるともいわれる。バッハ・モーツアルト時代の音楽教育を探ると共に、この音楽の本質ともいえるリズム、音の動きについて氏の見識を伺う。

〔特別研究〕 「ナンベルの音楽帳」の演奏法・指導法

7月26日（火） 午後1時～

小林仁先生



■バッハ インベンションの演奏法

バロック時代の教材が、優れた鍵盤楽器の教材であることは、誰でも認識していることであるが、その扱い方、奏法についての研究はまだまだといった面がある。原典版といわれているものにも、何種かの楽譜がある。その装飾音、フレージングなどの取扱い方、奏法について氏より御指導を得る。

〔特別研究〕 バッハの楽譜「原典版」の意味するもの

7月26日（火） 午後3時～

中川弘一郎先生



■遊びからピアノへの導入法とその発展カリキュラム

世界の音楽教育界にセンセーションを起したハンガリーの音楽教育の方法は、今や常識になりつつあり、日本の子供には、他国の中ではなく日本のわらべ唄から、その素材を生かすことが、より適切であろう。その素材をどう生かすか、音楽教育の基礎であるソルフェージュ指導法など具体的な氏のカリキュラムを御指導していただく。

〔特別研究〕 「音とあそぼう」 I・IIの演奏法と指導法

7月26日（火） 午後6時～

中田喜直先生



■中田喜直公開レッスン

かねてから氏は、大きな大人も、小さな子供も同じ楽器を使う不合理をといて来られたが、このたび、演奏会用の小さな手のための作品を世に送り出された。音楽的にも優れた内容を持つこの曲集の奏法を公開レッスンの形で御指導いただく。

ピアノ演奏 烏海智絵(6年生) 山田陽子(6年生) 野村仁子(中3年生) 佐藤美恵(中1年生)

〔特別研究〕 「小さい手のための曲集」演奏法と指導法

昭和52年度 夏期研修会 前期プログラム<7月25日26日>

会場 ヤクルトホール

7月25日(月) 午後2時30分～

芥川也寸志先生



■これからのお音楽教育の方向

創造の所産が芸術であるならば、創造性の開発なき音楽教育は考えられないはずである。ヤマハ音楽教室では、創作教育に入れ過去に幾多の才能ある子供たちを世に送り出してきた。その教育の大元じめともいべきヤマハ音楽財団の専務理事の要職にあった氏の御体験から、ユニークな音楽教育論そして方法論が伺える。

〔特別研究〕 誰でもできる創作指導の方法

7月25日(月) 午後6時～

霧生トシ子先生



■現代生活の中からのピアノ教育

今や音楽といえば、クラシックよりも、ボビュラーやジャズ、ロックなどの方がなじみ深い世代に、旧来の音楽教育だけでよいものであろうか。またジャズの真髓は即興性にあるという。クラシック音楽家としても優れ、またジャズ演奏家としても、知られる氏のジャズアンサンブルを聴かせていただくと共に、その指導法を伺う。

〔特別研究〕 ジャズへの道

7月26日(火) 午前10時～

市田儀一郎先生



■音楽の動きについて

「始めにリズムありき」とリーマンは言った。器楽曲が舞曲に源を発していることは、誰でも知っているところである。ヨーロッパ人と日本人の音楽のとらえ方の違いは、このリズム感にあるともいわれる。バッハ・モーツアルト時代の音楽教育を探ると共に、この音楽の本質ともいえるリズム、音の動きについて氏の見識を伺う。

〔特別研究〕 「ナンベルの音楽帳」の演奏法・指導法

7月26日(火) 午後1時～

小林仁先生



■バッハ インベンションの演奏法

バロック時代の教材が、優れた鍵盤楽器の教材であることは、誰でも認識していることであるが、その扱い方、奏法についての研究はまだまだといった面がある。原典版といわれているものにも、何種かの楽譜がある。その装飾音、フレージングなどの取扱い方、奏法について氏より御指導を得る。

〔特別研究〕 バッハの楽譜「原典版」の意味するもの

7月26日(火) 午後3時～

中川弘一郎先生



■遊びからピアノへの導入法とその発展カリキュラム

世界の音楽教育界にセンセーションを起したハンガリーの音楽教育の方法は、今や常識になりつつあり、日本の子供には、他国の中ではなく日本のわらべ唄から、その素材を生かすことが、より適切であろう。その素材をどう生かすか、音楽教育の基礎であるソルフェージュ指導法など具体的な氏のカリキュラムを御指導していただく。

〔特別研究〕 「音とあそぼう」 I・IIの演奏法と指導法

7月26日(火) 午後6時～

中田喜直先生



■中田喜直公開レッスン

かねてから氏は、大きな大人も、小さな子供も同じ楽器を使う不合理をといて来られたが、このたび、演奏会用の小さな手のための作品を世に送り出された。音楽的にも優れた内容を持つこの曲集の奏法を公開レッスンの形で御指導いただく。

ピアノ演奏 鳥海智絵(6年生) 山田陽子(6年生) 野村仁子(中3年生) 佐藤美恵(中1年生)

〔特別研究〕 「小さい手のための曲集」演奏法と指導法

昭和52年度 夏期研修会 後期プログラム<8月29日30日>

会場 第一生命ホール

8月29日（月） 午後2時30分～

中村菊子先生



■ジュリアード音楽院における子供の教育について

アメリカ滞在18年に及び、又 Musir Teachers National Association 主催のボールドウイン・ジュニア・ピアノ・コンクール、ニューヨーク州チャマンを務めるなど、ニューヨークの名士に数えられる氏から、アメリカの子供の教育の現状を伺う。幼児からの多調の指導、個性に応じた指導など多くの問題を得るに違いない。

〔特別研究〕バーナム・ピアノテクニック全調の練習

8月29日（月） 午後6時～

児玉幸子・邦夫先生



■連弾ピアノ奏法の奥義

アンサンブルの重要性は、誰でも認識しているところであるが、その最も手近かなものが連弾である。わが国連弾奏者最高峰の児玉御夫妻から新しい連弾曲、古今の連弾曲を御紹介していただきながらその連弾奏法のコツ、指導上の諸問題を御指導いただく。

連弾の楽しさ、効用を改めて知るよい機会となろう。

〔特別研究〕連弾曲のレパートリーの拡大 溝上日出夫作曲「絵のない絵本」他

8月30日（火） 午前10時～

松崎伶子先生



■リストピアノ曲への導入

リストのピアノ曲といえば、むずかしいというイメージがまず浮ぶが、その中に比較的やさしい曲があり、リスト曲への導入となろう。1971年リスト・バルトークピアノコンクールで、第1位受賞、現NHKピアノのおけいこ講師の氏より、リストピアノ曲の特徴、その演奏法など御指導していただく楽しみな講座である。

〔特別研究〕ツェルニー30・40番程度で弾けるリスト曲の指導法

8月30日（火） 午後1時～

武田宏子先生



■子どもへの現代曲の与え方

大人にはなじみにくいと思われるような現代曲でも、現代に生き未来に羽翼く子供にとっては、身近な曲として素直にとらえられるようである。いわゆる選抜されない子供たちを指導しながら、毎日学生コンクール全国一位受賞者を育てるなど、実際の御指導体験から子供の表現力の延ばせ方、練習意欲を持たせる法など、指導の奥義といったものを公開していただく。

ピアノ・小池美和、清水知子(小4)、浜渦香織(小5)、関谷久美子、黒木みほ(中1)、藤井早苗(中2)

〔特別研究〕やさしい、バルトーク、ハチャトリアン、嵐野英彦作品など

8月30日（火） 午後3時～

日下部憲夫先生



■無理なく幼児のピアノメカニックを養う法

ピアノテクニックというと、早い指廻りを連想するが、ピアノメカニックには、右手と左手の音のアンバランス、ポリフォニー奏法、スタカートとスラーの同時奏法、強弱、ペダルの使い方など数限りなくある。それらを幼児からバランスよく指導する法を御指導いただく。

ピアノ演奏 布川佳代(小1) 服部和代(小3) 上野真貴子(小4) 紺野三夏(小6)

〔特別研究〕新しい「ピアノテクニック」の指導法

8月30日（火） 午後6時～

田村 宏先生



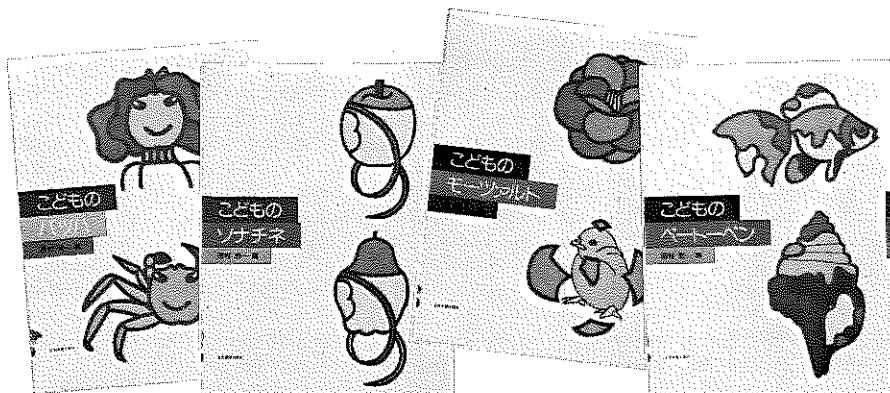
■モーツァルトのピアノソナタの演奏法

本当のモーツァルトが演奏できたら、一級のピアニストといわれるほど、モーツァルトピアノ曲は、はいりやすさに比べて、行き着くところのない奥深さを持っている。その演奏法、指導法など、原典版といわれる楽譜からどう読みとるか、またどう学ぶかなど、モーツァルト奏法の奥義といったものを御指導いただく期待の講座となろう。

〔特別研究〕モーツァルト原典版の意味するもの

田村 宏 編【子どものシリーズ】が新たになりました

現代の音楽教育に即応した校訂・編集はお子さんや教師のみなさんに多くの示唆を与えるでしょう。



子どものモーツアルト

菊倍判●50頁●¥450

子どものベートーベン

菊倍判●48頁●¥500

子どものシューベルト

菊倍判●76頁●¥800

子どものツェルニー

菊倍判●56頁●¥500

子どものソナチネ

菊倍判●52頁●¥500

子どものれんだん

菊倍判●64頁●¥750

子どものバッハ

菊倍判●48頁●¥500



全音楽譜出版社

東京都新宿区東五軒町25 ☎ 03-267-4321

ZEN-ON

ヨーロッパ三大音楽学校訪問の旅

昭和52年11月～11月29日



- 参加費用：¥340,000
- 出発日：昭和52年11月17日～26日（10日間）
- 申込金：¥40,000（費用の一部）
- 締切日：昭和52年10月20日（木）
- 参加人員：30名（定員になり次第締切）

問い合わせ・申し込み

〒170 東京都豊島区巣鴨1-38-7

全日本ピアノ指導者協会 994-1581

日 程 表

日次	月 日 暦	発着地／滞在地名	発着現地時間	交通機関名	摘要
1	昭和52年 11月17日 (木)	東京発	午後	航空機	空路パリへ (機中泊)
2	11月18日 (金)	パリ着	午前	専用バス	着後、 市内観光 エiffel塔、凱旋門、オペラ座 ルーブル美術館等 希望者は夜コンサート (パリ泊)
3	11月19日 (土)	パリ(滞在)	終日	専用バス	音楽学校訪問 パリ国立音楽院 希望者は夜コンサート (パリ泊)
4	11月20日 (日)	パリ発 ヴィーン着	午前 午後	航空機	空路、音楽の都ヴィーンへ 着後、 市内見学 シェーンブルン宮殿、ホーフブル グ王宮、国立オペラ劇場等 (ヴィーン泊)
5	11月21日 (月)	ヴィーン(滞在)	終日	専用バス	音楽学校訪問 ヴィーン国立音楽院 希望者は夜コンサート (ヴィーン泊)
6	11月22日 (火)	ヴィーン発 プラハ着	午前 午後	航空機 専用バス	空路、プラハへ 着後、 市内見学 プラハ城、ロレタ宝物館 カレル橋等 (プラハ泊)
7	11月23日 (水)	プラハ(滞在)	終日	専用バス	音楽学校訪問 プラハ音楽アカデミー 希望者は夜コンサート (プラハ)
8	11月24日 (木)	プラハ発 ロンドン着	午前 午後	航空機 専用バス	空路、ロンドンへ 着後、 市内見学 ロンドン塔、バッキンガム宮殿、 議事堂等 (ロンドン泊)
9	11月25日 (金)	ロンドン発	午後	航空機	空路、帰国の途へ (機中泊)
10	11月26日 (土)	東京着	午後		入国後、自由解散

音楽関係のヨーロッパ旅行の企画は殆どが、夜のコンサート参加に焦点が当てられているようです。今回当協会では、夏休みでは触ることのできない、学生が実際に学んでいる。いわば生きた音楽学校訪問旅行を秋に企画致しました。一度その地を訪れたことのある方にも、また初めてヨーロッパを訪れる方にも、この音楽学校の実状を知る上に貴重な機会だと思います。旅行期間は、祭日・土・日曜日を除きますと、5日ほど休暇をとれば参加できます。そして費用も協会ならではの30万円代の格安さです。

それぞれの国立音楽院では、国際的に知られているザイエルホッファー教授を始めラクロワ教授、など各教授と云われている先生方との懇談も予定されています。これから留学しようと考えていらっしゃる方、その保護者の方、そして御指導していらっしゃる教授の方々の御参加をお待ち申し上げます。

わたしたちの音楽（月刊）第65号 7月号

昭和52年7月1日発行 定価300円

編集発行人 福田 靖子

発行所 全日本ピアノ指導者協会
東京都豊島区巣鴨1-38-7 Tel.(03)944-1581